

★新着情報

第17回秩父宮妃記念結核予防功労賞受賞者決定

国内の結核予防事業に永年尽力して顕著な功績があり、他の模範となる個人又は団体から、この度、広島県支部より推薦した、国立療養所広島病院名誉院長井上圭太郎先生が受賞された。

第17回秩父宮妃記念結核予防功労賞受賞者

受賞者氏名：井上 圭太郎



県立広島医学専門学校（現広島大学医学部）卒業，広島医科大学入局を経て，昭和31年国立畑賀療養所勤務以降，平成5年3月に国立療養所広島病院長を退職するまで，結核患者診察の拠点として，地域医療に貢献された。

また，昭和42年広島県保健所結核審査協議会委員に就任し，日常診療の傍ら結核診療の適正化，レベル向上に尽力された。

平成6年から平成11年広島県医師会勤務医部会長として適正医療の推進に尽力された。

さらに，国立療養所広島病院長退職後，（財）広島県健康福祉センター（結核予防会広島県支部）健康指導センター所長として，結核健康診断・相談・指導などに従事して，地域の結核予防対策の推進に大きく貢献された。

現在は，社会福祉法人の理事長として社会福祉事業に携わられるとともに，今でも県内の集団健診医師として，第一線でご活躍されている。